

市田さんと日本共産党を語るつどい “黨員でよかった” “私も黨員に” 共感広がる



ユーモアを交えた市田副委員長の講演に聞き入る参加者



市田忠義副委員長

日本共産党は、「党創立92周年・いっせい地方選挙勝利をめざす躍進月間」にとりくんでいます。栃木県組織は13日、市田忠義副委員長を講師に、「日

本共産党を語るつどい」を宇都宮市内で開催し、280人が参加しました。市田副委員長は、焦点となっている集団的自衛権問題、消費税増税などくらしの問題、原発問題などを約1時間、にわたって丁寧な講演しました。市田氏は、

寄せられた感想から

▼戦争する国、アメリカと共に国外へ自衛隊を派遣する国への変更は、国民が望んでいるはずはない。しかし国民は与党安倍政権のごまかし説明を信じて日本の国民のためであると思っている。市田さんのお話を聞いて、名前を度々変えたり、「今

決・対案・共同で頑張ることが出来るのは、党が綱領と92年の不屈の歴史をもち、草の根で国民と結びついていて、ごいっしょに世直しをやりましょう」と呼びかけました。また、市田氏は、「尖閣問題」など寄せられた質問に丁寧に答えました。2人の新入黨員が、入党の動機や党生活について語り、会場から大きな拍手が寄せられました。

この党あるの？とわけわからなくなっている。スジの通った綱領に基づいて活動する日本共産党に、誇りを持って入りたい。新入黨員のお話に、感動が伝わりました。市田さんのお話を聞いて、名前を度々変えたり、「今

ストップ！「戦争する国」づくり 憲法共同センターが抗議の宣伝

「戦争する国づくり」を容認した閣議決定(1日)をうけ、県内各地で抗議行動が広がっています。市田さんのお話を聞いて、名前を度々変えたり、「今

この党あるの？とわけわからなくなっている。スジの通った綱領に基づいて活動する日本共産党に、誇りを持って入りたい。新入黨員のお話に、感動が伝わりました。市田さんのお話を聞いて、名前を度々変えたり、「今



閣議決定に怒りを込め、二荒山神社前に立つ参加者

閣議決定の撤回を求める署名を呼びかける人たちが、二荒山神社前に立っていました。市田さんのお話を聞いて、名前を度々変えたり、「今

閣議決定の撤回を求める署名を呼びかける人たちが、二荒山神社前に立っていました。市田さんのお話を聞いて、名前を度々変えたり、「今

閣議決定の撤回を求める署名を呼びかける人たちが、二荒山神社前に立っていました。市田さんのお話を聞いて、名前を度々変えたり、「今

栃木民主新報

日本共産党栃木県委員会
発行人 小林年治
〒21-12 〒321-0167
栃木県宇都宮市東浦町
電話 028(658)4302
FAX 028(658)4374
発行日 毎月第3日曜日
1ヶ月100円

豪雨対策は河川改修で 野村さんと宇都宮市議団 県に申し入れ

6月に相次いだ記録的豪雨により、宇都宮市内で床上浸水など大きな被害が出た問題で、10日、日本共産党の野村せつ子前県議と荒川恒男、福田久美子両市議は、河川改修など防災対策等の抜本的な強化を福田富一県知事と佐藤俊明宇都宮土木事務所長あてに申し入れました。



被災者から話を聞く(右から)野村、福田、荒川の各氏

野村氏は「向田線であふれた水や雨水は、越戸川に流れ込む構造のため、改修をすすめるには、河川を管轄する宇都宮市との連携が欠かせない」と指摘。土木事務所側は「県と市の関連部署を集めた関係会議を立ち上げ、対策を検討したい」と答えました。

憲法改悪阻止などを決議 栃木保健医療生協39回総代会

栃木県保健医療生活協同組合(関口真紀理事長)は6月29日、宇都宮市内で第39回通常総代会を開催しました。安倍政権の悪政のもと、いのちと健康を守る今後の活動方針を決定し、新理事会を選出しました。また、増税と社会保障切捨て反対をはじめ、

閣議決定に抗議声明 県弁護士会

栃木県弁護士会(田中真会長)は7日、県庁で記者会見し、集団的自衛権の行使を容認する閣議決定に抗議する会長声明を発表。翌日、ホームページに掲載しました。声明は、閣議決定について「他国の防衛のために自衛隊の派遣と行使を容認するもので、平和主義を定める日本国憲法の基本原則から

「栃木・九条の会」も抗議声明

憲法9条を守る会(栃木市)など18団体が名を連ねました。声明は、閣議決定を容認した閣議決定に対し、抗議声明を発表しました。「九条の会・暴挙だ」と批判。決定の撤回を求めます。

原発ゼロ栃木の会 結成2周年記念講演会

◆とき 7月26日(土) 18時～

◆ところ とちぎ健康の森・講堂

講演 日本共産党衆議院議員 **笠井 亮**さん

主催 原発ゼロ栃木の会

国民平和大行進 埼玉へ リレー旗と原爆の火かけ



沿道からの声援に応え、宇都宮行進4日目を歩く人たち

2014年原水爆禁止国民平和行進(北海道→東京コース)の栃木県内行進は、6月28日に福島県から那須町入りし、7月12日に埼玉県に引き継がれた。県内では、4コースに分かれて、15日間をかけて行進。全25市町を回り、先立ち、大きく